



万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース

News of Japan Chapter of International Society of Surgery

発行：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
慶應義塾大学医学部外科学教室
TEL:03-5363-3802 FAX:03-3355-4707
発行者：今野弘之
編集責任：万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部事務局長
八木 洋 (慶應義塾大学医学部外科学教室)
印刷：株式会社 dig TEL:03-3551-3060
年2回発行 1995年4月創刊

思い出深い万国外科学会

大分大学 学長
北野 正剛



小生にとって2019年発行の日本支部ニュース第49号以来5年ぶりの寄稿です。この間支部長として私共をご指導下さった比企能樹、北島政樹元支部長とのお別れやコロナパンデミックなど色々なことがありました。さて私にとって初めての万国外科学会への参加と発表はストックホルムで開催されたInternational surgical week-The34th World Congress of the ISS/SIC and the 12th World Congress of CICDで1991年8月27日のことです。以前留学していたケープタウン大学外科のJohn Terblanche教授から、自らが司会を務めるパネルにおいて同大学で学んだこと、そして解析したデータをぜひ発表してはどうかという連絡が始まります。そして、当時、福岡県済生会八幡総合病院の外科主任部長として臨床に明けくれ、前年に腹腔鏡下胆嚢摘出術を開始し公募による我が国で初めてのトレーニングコースを立ち上げたばかりの状況では長期出張が叶わず、ストックホルム1泊の予定で参加したことを懐かしく思い返しています。

タイトルは“Direct treatment of esophageal varices”ということで、当時私の専門領域であった門脈圧亢進症の治療に関するものでした。120年の歴史を持つ歴史と伝統ある国際学会でのパネルディスカッションでの発表で、緊張と共に誇らしく感じた思い出深い経験でした。思い返しますと、ストックホルム港の目の前にあるホテルに宿泊し、そして、学会参加そして慌ただしく帰国したことをよく覚えています。

学会の内容そのものはよく覚えていませんが、思い出深い写真としては、そのときストックホルム駅の構内で、当時の重鎮であったであろう皆さんとのものです。左からSAGESの創設者の一人George Berci教授、John Terblanche教授、右から小生そしてケープタウン時代の同僚であった



34th ISW (1991年) ストックホルム プログラム表紙

Philip Bornman教授です。その後、一昨年ウイーン開催の第49回まで欠かさず出席し、多くの世界各国の重鎮や新進の若手外科医の皆様と親しく話をする機会が得られました。小生にとってこれらの経験は何事にも変えられない大切な経験です。次回は今年クアランパウルでの開催です。この学会はシニアにとって旧交を温める機会、そして若手には今後の世界へ羽ばたく良い機会ですので、奮って参加をお待ちしています。現地でお会いすることを楽しみにしています。



ストックホルム駅の構内にて (1991年)

日本支部活動報告

- 2023.1.30 万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース第55号発行
- 2023.4.29 第53回万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部総会 (於：東京 ザ・プリンスさくらタワー東京)
- 2023.6.1 万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース第56号発行
- 2023.11.14 万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部ニュース第57号発行
- 2023.12.1 第54回万国外科学会 (ISS/SIC) 日本支部総会 (WEB開催)

会員動向

会員数	312名
名誉会員	1名
シニア会員	12名
正規会員	299名

※2024年1月31日現在

50th World Congress of Surgery International Surgical Week 2024 KL (ISW2024 マレーシア)

2024年8月25日(日) - 8月29日(木)の5日間、マレーシアのクアラルンプールにおきまして、International Surgical Week・ISW2024が開催されます。日本の皆様の多数のご参加を心よりお待ちしております。

主な日程(予定) 学術集会 8月25日 - 8月29日
 8月26日(月) 8:00 オープニングセレモニー、Yokohama Award 表彰
 19:00 Kuala Lumpur Night (全体懇親会)
 8月27日(火) 12:15 Grey Turner Lecture (北川 雄光 元日本支部長)
 19:00 ISDS, IAES, IATSIC, BSI, ASAP, IASMEN 各学会夕食会
 8月28日(水) 12:15 ISS/SIC 総会
 19:00 Japan Night (日本人参加者懇親会)

詳細は <https://www.isw2024.org/> をご確認ください。
 日本支部のウェブサイトにも随時情報を掲載します。 <http://wss-jp.org/>



Kuala Lumpur, Malaysia
25-29 August 2024

50th World Congress of the International Society of Surgery ISS/SIC
International Surgical Week
 The World's Congress of Surgery
 isw2024.org

Jointly organized with the 50th Annual Scientific Congress of the College of Surgeons Academy of Surgeons of Malaysia (CSAMM)

International Society of Surgery ISS / SIC
 and its Integrated Societies

#ISW2024KualaLumpur

IAES - International Association of Endocrine Surgeons
 IATSIC - International Association for Trauma Surgery and Intensive Care
 IASMEN - International Association for Surgical Metabolism and Nutrition
 BSI - Breast Surgery International
 ISDS - International Society for Digestive Surgery
 ASAP - Alliance for Surgery and Anesthesia Presence

surgery@iss-sic.com
 isw2024.org



・ Grey Turner Memorial Lecture ご案内

日本からは3名の先生が選出されています

- ・ 1997年 Acapulco
出月 康夫 (いでづき やすお) 先生
- ・ 2001年 Brussels
北島 政樹 (きたしま まさき) 先生
- ・ 2024年 Kuala Lumpur
北川 雄光 (きたがわ ゆうこう) 先生



George Gray Turner 先生
 1877年9月8日 - 1951年8月24日
 ロンドン医師会会長
 心臓からの弾丸摘出手術のパイオニア。
 癌化学療法の発展に貢献。
 ニューオーリンズで開催された第13回 ISS 総会会長。

・ Yokohama Award ご案内

Yokohama Award は、横浜で開催された ISW2011 (渡邊昌彦会長) から日本支部に寄贈いただいた余剰金を基金とし、若手外科医の ISW への参加を支援する目的で創設されました。

ISW に優れた演題を提出した 40 歳以下の外科医に授与されます (応募には日本支部会員による推薦が必要)。

第1回は Yokohama Award ISW2013 Helsinki に際し、5名の先生が受賞し、今回で5回目となります。

受賞者は ISS/SIC Foundation Travel Scholarship を始めとする他の Travel Award 受賞者とともに ISW での表彰式に出席し、日本支部長からの紹介、証書の授与を受けます。



2024年度予算案 (2024年1月1日~12月31日) ISS/SIC

2023年度収支決算書 (2023年1月1日~12月31日)

日本円の部

単位:円

収入の部	予算額	備考
ドルから預替	700,000	5,000ドル 1ドル140円で計算
広告掲載料	200,000	4社(1口あたり50,000円)
寄付	0	
雑収入	0	
利息	0	
当期合計	900,000	
前年度繰越金	3,188,160	
収入合計	4,088,160	
支出の部		
会議費	300,000	支部総会(ハイブリット1回、Web1回分)
通信費	100,000	
印刷費	320,000	支部ニュース2回発行分
文具費	10,000	
交通費	90,000	
人件費	500,000	
雑費	15,000	
予備費	30,000	
支出合計	1,365,000	
収支残高(次年度繰越金)	2,723,160	

収入の部(Yokohama Award)	予算額	備考
前年度繰越金	5,310,240	
収入合計	5,310,240	
支出の部(Yokohama Award)		
Yokohama Award 賞金	500,000	
雑費	10,000	
支出合計	510,000	
収支残高(次年度繰越金)	4,800,240	

ドルの部

単位:ドル

収入の部	予算額	備考
会費	4,968.00	USD 45×115名(2023年会員支払人数)×4%チャージ
利息	0	
繰越金	817.70	
収入合計	5,785.70	
支出の部		
日本円へ預替	5,000.00	2024年分 5,000ドル 1ドル140円で計算
スイス本部への寄附	0	
支出合計	5,000.00	
次年度繰越金	785.70	

日本円の部

単位:円

I 収入の部	予算額	決算額	備考
会費	1,400,000	1,400,004	2022年分を1月、2023年分を10月に振替
広告掲載料	300,000	250,000	5社(1口あたり50,000円)
雑収入	0	72	
当期合計	1,700,000	1,650,076	
前年度繰越金	2,955,048	2,955,048	
収入合計	4,655,048	4,605,124	
II 支出の部			
会議費	380,000	285,134	支部総会(春:ハイブリット、秋:Web)
通信費	150,000	154,900	
印刷費	550,000	453,200	支部ニュース55号、56号、57号
文具費	5,000	8,831	
交通費	90,000	584	
人件費	520,000	500,000	
雑費	15,000	14,315	
予備費	30,000	0	
支出合計	1,740,000	1,416,964	
収支残高	2,915,048	3,188,160	次年度繰越金

YOKOHAMA AWARD

I 収入の部	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	5,310,240	5,310,240	
収入合計	5,310,240	5,310,240	
II 支出の部			
Yokohama Award 賞金	0	0	
支出合計	0	0	
収支残高	5,310,240	5,310,240	次年度繰越金

US ドルの部

単位:ドル

I 収入の部	予算額	決算額	備考
会費	5600.00	4,796.00	
利息	0	0.26	
前年度繰越金	7188.39	7188.39	
収入合計	12,788.39	11,984.65	
II 支出の部			
日本円へ預替	10800.00	10,166.95	2022年、2023年分
スイス本部への寄附	1000.00	1,000.00	2022年分
支出合計	11,800.00	11,166.95	
次年度繰越金	988.39	817.70	

残高 日本円 3,188,160円 (通帳残高3,160,620円+現金27,540円)

日本円 5,310,240円 (通帳残高5,310,240円)

※2011年 ISW2011 横浜より YOKOHAMA AWARD 賞金として余剰金(7,812,000円)を寄贈
USドル 817.7ドル (通帳残高 817.7ドル)

ISS/SIC 万国外科学会 日本支部

2024年1月16日

監事

宮内 昭 印

2024年1月25日

監事

海野 倫明 印



良質。均質。ツムラ品質。

ツムラ

株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/>
資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。
医療関係者の皆様 tel.0120-329-970
患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930
受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 審

生薬には、
個性がある。

第54回 万国外科学会(ISS/SIC)日本支部総会 議事録

2023年12月1日(金曜日) 午後17:00~17:45

WEB開催

出席者：猪股雅史、井本 滋、江口英利、遠藤 格、大村健史、掛地吉弘、亀岡信悟、菊池寛利、北野正剛、小池直人、小寺泰弘、小山知秀、今野弘之、枝園忠彦、杉谷 巖、竹政伊知朗、野村幸世、長谷川潔、馬場秀夫、比企直樹、藤村隆、堀内喜代美、堀口明彦、堀周太郎、前田耕太郎、松原久裕、溝端康光、宮内 昭、村尾佳則、八木 洋、矢永勝彦、吉田 昌、吉田 寛、和田則仁

(敬称略、五十音順、計34名)(事務局：藤谷梨恵)

1 開会挨拶

八木事務局長より開会挨拶。

2 支部長挨拶

今野日本支部長よりご挨拶：数年ぶりの対面開催となった前回春季総会に続き、師走のご多忙中にも関わらず多数の先生方にご参集頂いたことへの御礼がなされた。

前日本支部長 北野正剛先生よりご挨拶：今野支部長のもと、世界へ向けて日本支部の立場をしっかりと示すことが出来ている。ひとえに会員の先生方のお力添えの賜物である旨、感謝のお言葉を頂戴した。

3 International Surgical Week (ISW) 2024, Kuala Lumpur, Malaysia について 八木事務局長：

次回 ISW は 2024 年 8 月 25 日 (日) ~ 29 日 (木) にマレーシア・クアラルンプールコンベンションセンターにて開催される。実際のプログラムは 8 月 26 日 (月) から開始され、近日中に日本支部より会員の皆様へ向けて座長希望のアンケートを実施予定であるため、是非ご協力いただきたい。併せて若手医師の参加促進のため YOKOHAMA AWARD への積極的な応募を期待する。また、日本人会員向け懇親会「Japan Night」を 2024 年 8 月 28 日 (水) 19:00 より開催予定である。日本人として 3 人目となる元日本支部長 北川雄光先生の Grey Turner Memorial Lecture ご講演を記念し、多数の会員の先生方のご参加を心よりお待ち申し上げる。

4 支部活動報告

八木事務局長より 2023 年度支部活動報告および新規会員 3 名のご紹介がなされた。新規会員を代表し、東京大学大学院医学研究科の長谷川潔先生より一言ご挨拶を頂戴した。会計中間報告として、【I. 収入の部】2022 年度の US ドルから日本円への会費振替が遅れ 2 年分の入金となったため決算額が大きくなっている。【II. 支出の部】秋季総会 WEB 開催により会議費および交通費が、印刷物のペーパーレス化により印刷費の支出が抑えられた。【III. US ドルの部】収入の部と同様に 2 年分の会費振替がなされた。会費は 2022 年度 USD 5,573.00、2023 年度 USD 4,710.95 と減少傾向であるが、円安の影響により支出が抑えられた。繰越金僅かのため予算案に則り 2023 年度はスイス本部への寄附は実施しない。

5 Collective Member Societies より

■ IAES 杉谷巖先生：

ISW2024 に向けてプログラムの準備等を進めている。19 のセッションを用意し、領域横断的に neuroendocrine (神経内分泌腫瘍)、新しいテクノロジーを中心にフリーペーパーおよびポスターを募集する。YOKOHAMA AWARD を含め、日本人会員の先生方に積極的な参加を呼び掛けている。

■ BSI 枝園忠彦先生：

ISW に先立ち 2024 年 2 月 3 日に第 3 回 BSI Webinar を開催予定である。内容としては乳癌に関連する妊孕性マネジメントを中心とし、日本を含めたアジア、UK、南アフリカ等の現状に関してディスカッションを行う。ISW プログラムとしては、乳癌関連情報、薬物療法、最新の手術等を企画している。また、JCOG (日本臨床腫瘍研究グループ) の試験結果をレクチャーで報告予定である。

■ IASMEN 小谷穰治先生 (八木事務局長代読)：

イギリスで開催される SRS (The Surgical Research Society Annual meeting) 2024 の抄録受付中である。国内においては 7 月に第 60 回日本外科代謝栄養学会学術集会在アジア外科代謝栄養学会 (ASSMN) と共催にて開催され、盛況であった。第 3 回 ASSMN は来年 10 月に開催予定である。ISW2024 における IASMEN のセッション詳細および、最新の Article に関してご紹介させて頂く。

■ ISDS 今野支部長：

遺憾ながら ISDS の演題枠は減少となり、メインセッションはこれまでの臓器別から悪性・良性の分類へと変更された。日本支部会員の多くを占める消化器外科の先生方に今後も変わらず発表して頂けるよう引き続き尽力していく。一般演題等、若手医師の参加を積極的に呼びかけて頂きたい。

■ IATSIC 溝端康光先生：

IATSIC と IATSIC Japan との DSTC/DATC に関する MOU を 3 月に締結した。第 18 回 DSTC/DATC コースを 8 月 6 日から 3 日間に渡り現地開催し、受講生は DSTC 16 名、DATC 9 名、講師は海外から Boffard 先生をはじめ 5 名が参加された。DSTC には 6 カ国からの参加があり国際色豊かであった。また、Animal Lab には手術室看護師 15 名が参加した。DATC マニュアル改訂がなされ近日中に第 6 版が発行予定である。現在 ISW2024 に向けて誠意準備を進めている。

■ International Association of Student Surgical Societies (IASSS) 堀周太郎先生：

IASSS は外科を志す医学生の国際交流を目的とした国際団体であり、120 カ国 900 以上の大学が加盟している。浜松医科大学の菊池先生にご支援いただき、日本支部設立に向けて IASSS 本部との Zoom Meeting 開催等の活動を行ってきた。現在、慶應義塾大学から 1 名、浜松医科大学から 4 名の学生が個人的に IASSS に参加登録し、うち 1 名は代表として ISW2024 に参加予定である。日本支部の構築により医学生の自主的な活動をサポートし、世界で活躍する機会の提供を目指したい。IASSS 活動報告に関して、菊池寛利先生より補足説明と奨励のお言葉を頂いた。

6 次回日程について

令和 6 年 4 月 20 日 (土) 午前 7:15 ~ 愛知県 (AICHI SKY EXPO 近傍) にてハイブリット開催予定

7 閉会挨拶

北野前支部長より ISW2024 への参加呼びかけがなされ、今野支部長の閉会ご挨拶にて締めくくられた。以上



血液凝固阻止剤
アコアラン® 静注用 600・1800
600国際単位、1800国際単位 / バイアル
ACOLAN Injection アンチトロンビン ガンマ(遺伝子組換え)静注用
[生物由来製品] [処方箋医薬品] (注意-医師等の処方箋により使用すること) [薬価基準収載]

※効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

製造販売元 協和キリン株式会社 販売元 一般社団法人 日本血液製剤機構
東京都千代田区大手町1-9-2 東京都港区芝浦3-1-1

ACO-202208

[文献請求先及び問い合わせ先] 日本血液製剤機構 ぐすり相談室
〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-1 医療関係者向け製品情報サイト <https://www.jbpo.or.jp/med/di/>